



Java Desktop System Release 3 ご 使用にあたって (Solaris 10 版)

Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No: 819-0639-10
2005 年 1 月

Copyright 2005 Sun Microsystems, Inc. 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A. All rights reserved.

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。フォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

U.S. Government Rights Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本製品に含まれる HG-MinchoL、HG-MinchoL-Sun、HG-PMinchoL-Sun、HG-GothicB、HG-GothicB-Sun、および HG-PGothicB-Sun は、株式会社リコーがリコービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。HeiseiMin-W3H は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、サン・マイクロシステムズ株式会社、Sun Microsystems、docs.sun.com、AnswerBook、AnswerBook2、Java、は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標、登録商標もしくは、サービスマークです。

サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。Macromedia, Inc. による Macromedia Flash Player 技術を搭載しています。Copyright© 1995-2002 Macromedia, Inc. All rights reserved. Macromedia、Flash および Macromedia Flash は、米国および海外における Macromedia, Inc. の商標もしくは登録商標です。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

Wnn は、京都大学、株式会社アステック、オムロン株式会社で共同開発されたソフトウェアです。

Wnn6 は、オムロン株式会社、オムロンソフトウェア株式会社で共同開発されたソフトウェアです。© Copyright OMRON Co., Ltd. 1995-2000. All Rights Reserved. © Copyright OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1995-2002 All Rights Reserved.

「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「ATOK Server/ATOK12」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK Server/ATOK12」にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

「ATOK Server/ATOK12」に含まれる郵便番号辞書 (7 桁/5 桁) は日本郵政公社が公開したデータを元に制作された物です (一部データの加工を行っています)。

「ATOK Server/ATOK12」に含まれるフェイスマーク辞書は、株式会社ビレッジセンターの許諾のもと、同社が発行する『インターネット・パソコン通信フェイスマークガイド』に添付のものを使用しています。

Unicode は、Unicode, Inc. の商標です。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: *Java Desktop System Release 3 for the Solaris 10 Operating System Release Notes*

Part No: 817-7303-10

Revision A



050213@10536



目次

はじめに	5
1 Java Desktop System Release 3 ご使用にあたって	11
1.1 製品の特徴	11
1.2 新機能	12
1.3 既知の問題点	13
1.4 旧リリースとの相違点	13
1.5 マニュアルの場所	14
1.5.1 各国語版のユーザーマニュアルへのアクセス	14
1.5.2 サンプルアプリケーションのマニュアル	15
1.5.3 リムーバブルメディアに関する情報	15
1.6 評価用サンプルアプリケーション	15
1.6.1 サンプルアプリケーション	16
1.6.2 Sun 以外のアプリケーション	16
1.6.3 サンプルゲーム	17
1.7 Mozilla 1.7 用プラグイン	17
1.7.1 Java プラグイン	17
1.7.2 その他のプラグイン	18
1.8 各国語化サポート	18
1.9 推奨ロケール	19
1.10 Unicode 多言語コンピューティングへの移行	19
1.10.1 データのインポートとエクスポート	19

はじめに

本書では、Solaris™ 10 オペレーティングシステム向け Sun Java™ Desktop System Release 3 に関するリリース情報を記載しています。

サポートされるシステム

このリリースの Java Desktop System では、次のシステムをサポートします。

- SPARC® プラットフォーム上で Solaris 10 オペレーティングシステムが稼働しているシステム
- x86 プラットフォーム上で Solaris 10 オペレーティングシステムが稼働しているシステム

表 P-1 に、本製品リリースに関連して、Solaris オペレーティングシステムがサポートしているシステムの情報を示します。Java Desktop System マニュアルでは、x86 という用語は、表 P-1 に示すプロセッサファミリーを指します。

表 P-1 サポートされる Solaris システム

アーキテクチャ	プロセッサファミリー	Solaris システム
SPARC	<ul style="list-style-type: none">■ SPARC64■ UltraSPARC	『Solaris 10 Hardware Compatibility List』には、次の場所からアクセスできます。 http://www.sun.com/bigadmin/hcl
x86	<ul style="list-style-type: none">■ AMD64■ Pentium■ EMT64	Solaris 10 Hardware Compatibility List には、次の場所からアクセスできます。 http://www.sun.com/bigadmin/hcl

対象読者

本書は、Solaris オペレーティングシステムで Java Desktop System Release 3 を使用して、次の操作を行うユーザーを対象に書かれています。

- Java Desktop System のインストール
- Java Desktop System の管理
- 各種ロケールでの Java Desktop System の設定

関連マニュアル

次のマニュアルは、本書の参考マニュアルです。

- 『Java Desktop System Release 3 Accessibility Guide』
- 『Java Desktop System Release 3 システム管理』
- 『Java Desktop System Release 3 問題の解決方法』
- 『Java Desktop System Release 3 ユーザーズガイド』

参考マニュアル

次のマニュアルは、本書の参考マニュアルです。

- 『Java Desktop System 電子メールとカレンダー・ユーザーズガイド』
- 『StarSuite 7 Office Suite 管理ガイド』
- 『StarSuite 7 Office Suite 基本ガイド』
- 『StarSuite 7 Office Suite インストールの手引き』
- 『StarSuite 7 Office Suite ユーザーズガイド』

Sun のオンラインマニュアル

docs.sun.com では、Sun が提供しているオンラインマニュアルを参照することができます。マニュアルのタイトルや特定の主題などをキーワードとして、検索を行うこともできます。URL は、<http://docs.sun.com> です。

表記上の規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用します。

表 P-2 表記上の規則

字体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例を示します。	.login ファイルを編集します。 ls -a を使用してすべてのファイルを表示します。 system%
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して示します。	system% su password:
AaBbCc123	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、rm <i>filename</i> と入力します。
『』	参照する書名を示します。	『コードマネージャ・ユーザズガイド』を参照してください。
「」	参照する章、節、ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。	第5章「衝突の回避」を参照してください。 この操作ができるのは、「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	sun% grep `^#define \ XV_VERSION_STRING`

コード例は次のように表示されます。

■ C シェル

```
machine_name% command y|n [filename]
```

■ C シェルのスーパーユーザー

```
machine_name# command y|n [filename]
```

■ Bourne シェルおよび Korn シェル

```
$ command y|n [filename]
```

■ Bourne シェルおよび Korn シェルのスーパーユーザー

```
# command y|n [filename]
```

[] は省略可能な項目を示します。上記の例は、*filename* は省略してもよいことを示しています。

| は区切り文字 (セパレータ) です。この文字で分割されている引数のうち 1 つだけを指定します。

キーボードのキー名は英文で、頭文字を大文字で示します (例: Shift キーを押します)。ただし、キーボードによっては Enter キーが Return キーの動作をします。

ダッシュ (-) は 2 つのキーを同時に押すことを示します。たとえば、Ctrl-D は Control キーを押したまま D キーを押すことを意味します。

一般規則

- 本書では、「x86」という用語は AMD64 あるいは Intel Xeon/Pentium 製品系列と互換性のあるプロセッサを使用して製造された 32 ビットおよび 64 ビットシステムを意味します。

マウス使用規則

次の表に、Java Desktop System 用マニュアルでのマウス使用規則をまとめます。

動作	定義
クリック	マウスを動かさずに、左マウスボタンを押して放す
クリック&ホールド	左マウスボタンを押したまま放さない
左クリック	クリックと同じ。左クリックは、右クリックと混乱する恐れがある場合に、操作を明確にするために使用する
中央クリック	マウスを動かさずに、中央マウスボタンを押して放す
右クリック	マウスを動かさずに、右マウスボタンを押して放す
ダブルクリック	マウスを動かさずに、すばやく 2 回押して放す
ドラッグ	マウスボタンをクリック&ホールドして、オブジェクトを移動する。たとえば、ウィンドウまたはアイコンをドラッグできる。デスクトップ上では、左マウスボタンおよび中央マウスボタンを使用してドラッグを実行できる

動作	定義
ドラッグ&ドロップ	マウスボタンをクリック&ホールドして、オブジェクトを移動する。たとえば、ウィンドウまたはアイコンをドラッグ&ドロップできる。オブジェクトを配置する場所でマウスボタンを放す
グラブ	移動する項目をポイントし、マウスボタンをクリック&ホールドする。たとえば、ウィンドウのタイトルバーをグラブし、そのウィンドウを別の場所にドラッグできる

第 1 章

Java Desktop System Release 3 ご使用にあたって

本書では、次のリリース製品を対象に説明します。

- SPARC プラットフォーム用 Solaris 10 オペレーティングシステム (OS) 向け Java Desktop System Release 3
- x86 プラットフォーム用 Solaris 10 OS 向け Java Desktop System Release 3

1.1 製品の特徴

Java Desktop System には、次のような機能が備わっています。

オープンソーススタンダード	GNOME デスクトップ環境、StarSuite 統合オフィスツール、Mozilla ブラウザ、Evolution メールおよびカレンダークライアント、Java 2 Platform Standard Edition などのコンポーネントが装備されています。
高度なシステム管理	サーバー側管理ツールにより、ユーザーのデスクトップ環境を集中的に設定、導入、管理できます。
開発者向けツール	高度な開発者向けツールが、Java ベースのデスクトップ用アプリケーションの作成を支援します。
アプリケーション機能	このリリースの Java Desktop System には、次のような新しいアプリケーション機能が備わっています。 <ul style="list-style-type: none">■ Microsoft Exchange Server V2.0.1 用コネクタ■ Sun Java Calendar Preview

1.2 新機能

このリリースの Solaris 10 OS 向け Java Desktop System では、オープンソースのソフトウェアコミュニティと Sun Microsystems の革新的な技術により、包括的、統合済み、相互運用可能なデスクトップ環境が実現しています。このリリースの Java Desktop System に加えられた更新と新機能を次の表に示します。

機能	説明
モバイル性	<ul style="list-style-type: none">■ Web ブラウザプロファイルのローミング用プロファイル管理の改善
相互運用性	<ul style="list-style-type: none">■ Exchange コネクタにより、電子メールおよびカレンダーアプリケーションと Microsoft Exchange ネットワークの相互運用が実現■ 新機能 Sun Java Calendar Preview、Java カレンダーおよびアドレスブッククライアントが Microsoft Exchange サーバーおよび Sun Java System Messaging サーバーへの接続をサポート■ Internet Explorer とのブラウザ互換性の向上■ Samba 3.0 が Windows ファイル共有との相互運用性を確保
新しいアクセシビリティアプリケーション	<ul style="list-style-type: none">■ スクリーンリーダーと拡大鏡■ オンスクリーンキーボード <p>詳細は『Java Desktop System Release 3 Accessibility Guide』および『Java Desktop System Release 3 Accessibility Release Notes』を参照してください。</p>
国際化	<ul style="list-style-type: none">■ 簡体字中国語による入力方式 SunPinYin■ 新機能、ファイルシステム検査器により、レガシー環境から UTF-8 文字エンコーディングへの移行が容易
全般的な改善点	<ul style="list-style-type: none">■ Java Desktop System、GNOME 2.0x、電子メールおよびカレンダーアプリケーション、Mozilla および Gaim の主要コンポーネントをすべて更新■ StarSuite 7 には Product Patch 4 が同梱■ 業界標準 PC/SC API を介したスマートカード統合フレームワークを装備

1.3 既知の問題点

このリリースの Java Desktop System における既知の問題点のうち、製品リリース時に回避策がまだ見つからないものを次の表に示します。

トピック	既知の問題点
アプリケーション	<ul style="list-style-type: none">■ バグ ID: 6200999 Mozilla: ローミングアクセスサーバーと「ユーザ設定」をやり取りできるよう指定できます。「編集」→「設定」→「ローミング」→「項目の選択」の順に選択し、「ユーザ設定」を選択します。この選択が反映されません。■ バグ ID: 6204976 電子メールおよびカレンダー: Evolution アプリケーションでは、特定の言語による添付文書を保存できません。■ バグ ID: 5082008 アーカイブ管理: アーカイブ管理 から、次の種類のアーカイブを作成できません。<ul style="list-style-type: none">■ .arj■ .lha■ .bzip■ .lzop■ .zoo■ ボリュームコントロール ボリュームコントロールデスクトップアプリケーションを起動できる、ボリュームコントロールパネルアプリケーションのオプションが動作しません。■ サウンドレコーダ 新しい .wav ファイルを録音するとき、スライドバーとサイドカウンタが動作しません。
各国語化	<ul style="list-style-type: none">■ BMP 以外の Unicode 文字を含んでいる文書を Mozilla から印刷することはできません。

1.4 旧リリースとの相違点

このリリースの Solaris 10 OS 向け Java Desktop System は、GNOME 2.6 Desktop をベースにしています。このリリースの Java Desktop System には、次のコンポーネントは含まれません。

- /usr/bin/galf

- /usr/bin/galf-server
- /usr/bin/gnome-settings-daemon
- /usr/bin/gnome-theme-properties
- /usr/bin/gnometriz
- /usr/bin/intltool-unicodify
- /usr/bin/jmplay.bin
- /usr/bin/libgnomeprint-2.0-font-install
- /usr/bin/linc-config
- /usr/bin/metacity-properties
- /usr/bin/mk-star-menuentries
- /usr/bin/nautilus-gtkhtml-view
- /usr/bin/play
- /usr/bin/rec
- /usr/bin/sfconvert
- /usr/bin/sfinfo
- /usr/bin/soxmix
- /usr/bin/yelp-pregenerate
- /usr/lib/libgen_util_applet-2.so
- /usr/lib/liblinc.so
- /usr/lib/libzvt-2.0.s

これらのコンポーネントが必要な場合は、GNOME コミュニティにお問い合わせください。<http://gnome.org>をご覧ください。

1.5 マニュアルの場所

Java Desktop System の PDF 形式および HTML 形式のマニュアルは、次の場所にあります。

- 付属の Documentation DVD
- <http://docs.sun.com>.

1.5.1 各国語版のユーザーマニュアルへのアクセス

ヘルプブラウザでは、一部の言語による Java Desktop System のユーザーマニュアルを表示できません。

各国語版のユーザーマニュアルを表示するには、<http://docs.sun.com> で次の手順を実行します。

1. 次のページを開きます。
<http://docs.sun.com>
2. 言語選択ボタンから、希望の言語を選択します。

言語選択ボタンは、そのページの「**Search/browse within**」領域の隣にあります。

3. 希望のマニュアル名を「検索」フィールドに入力します。
4. 表示されたリストから、希望のマニュアルを選択します。

1.5.2 サンプルアプリケーションのマニュアル

このリリースの Java Desktop System には、GNOME フリーソフトウェアコミュニティによって提供されるヘルプマニュアルを持つサンプルアプリケーションが含まれています。Sun Microsystems は、フリーソフトウェアコミュニティによって提供されるヘルプマニュアルの完全性または正確性については、責任を負いません。

Sun は、アプリケーションと機能に関する約 130 のマニュアルページを提供します。マニュアルページの著作者として Sun Microsystems または Sun Microsystems の代理店の明確な著作者表示がないマニュアルについては、Sun Microsystems では、マニュアルの内容や正確さに関する責任は一切負いません。

Sun は、サンプルアプリケーションの各国語版マニュアルは提供しません。

1.5.3 リムーバブルメディアに関する情報

リムーバブルメディアについては、<http://docs.sun.com> の『*Java Desktop System Release 3 ユーザーズガイド*』を参照してください。

1.6 評価用サンプルアプリケーション

Sun は、ユーザーが批評および評価できるよう、Java Desktop System と共に各種サンプルアプリケーションを提供します。サンプルアプリケーションは、GNOME フリーソフトウェアコミュニティや Sun 以外の販売会社の製品です。Sun は、これらのサンプルアプリケーションについては、以下のいずれも提供しません。

- アクセシビリティ機能
- バグの修正
- マニュアルまたはヘルプ
- 各国語化
- 技術サポート

1.6.1 サンプルアプリケーション

次の表に、Sun Microsystems がサンプルアプリケーションとして提供する GNOME フリーウェアコミュニティによるアプリケーションを一覧表示します。

アプリケーション	説明
Calendar Client Preview	カレンダーアプリケーション
ダイアグラムエディタ	フローチャート、地図、UML 図など、数多くの図を作成できる図形エディタ
辞書	単語の定義および正確なスペルを調べることができるオンライン辞書
デジタルカメラブラウザ	画像を管理するデジタルカメラブラウザ
ディスクアナライザ	ディスクの中身を視覚的に表示できるディスク解析プログラム
画像エディタ	画像を編集する GNU 画像処理プログラム
画像管理	画像のサムネイルをデスクトップに表示する画像ビューアとブラウザ
インタフェースエディタ	GNOME アプリケーションのユーザーインタフェースを作成するプログラミングアプリケーション
ムービープレイヤー	動画を再生できるマルチメディアプレイヤー
オンスクリーンキーボード	Java Desktop System の入力装置として使用できるオンスクリーンキーボード
プロジェクト管理	プロジェクトスケジュールの管理用ツール
拡大鏡	画面の拡大表示や、その他のユーザー補助機能を提供します。
ソースエディタ	プログラマのための汎用的な拡張可能なエディタ
天気予報	さまざまな地域の現在の天候を表示する天気予報プログラム

1.6.2 Sun 以外のアプリケーション

次の表に、このリリースの Java Desktop System に関連する Sun 以外の製品を示します。これらのアプリケーションの機能やサポートに関しては、Sun Microsystems では責任を一切負いません。

Sun 以外の製品	説明	プラットフォーム
Adobe Acrobat Reader	Java Desktop System で PDF 形式のファイルを表示できます。このアプリケーションに関する情報は、次の場所にあります。 http://www.adobe.com .	SPARC

x86 プラットフォームでは、GNOME PDF ドキュメントビューアを使って PDF ファイルを表示できます。PDF ドキュメントビューアを開始するには、「起動」をクリックし、「アプリケーション」 → 「グラフィックス」 → 「PDF ドキュメントビューア」の順に選択します。

1.6.3 サンプルゲーム

Sun Microsystems では、評価目的においてのみ、次のゲームを提供します。

- Ataxx
- Four-in-a-row
- Iagno
- Klotski
- Lines
- Mahjongg
- Mines
- Nibbles
- Robots
- Same GNOME
- Spider
- Stones
- Tali
- Tetravex

1.7 Mozilla 1.7 用プラグイン

このセクションでは、Mozilla 1.7 用プラグインについて説明します。

1.7.1 Java プラグイン

Java プラグイン は、Mozilla 1.7 ではデフォルトで有効になっています。Java Plugin が動作しない場合は、`/usr/sfw/lib/mozilla/plugins` ディレクトリで、次の表の正しいファイルを示すシンボリックリンクを作成します。

プラットフォーム	パス
SPARC	<code>\$JAVA_PATH/plugin/sparc/ns7/libjavaplugin_oji.so</code>
x86	<code>\$JAVA_PATH/plugin/i386/ns7/libjavaplugin_oji.so</code>

Java Desktop System Release 3 では、`$JAVA_PATH` は `/usr/java/jre` です。

注 - `libjavaplugin_oji.so` ファイルをコピーするのではなく、必ずシンボリックリンクを作成してください。`libjavaplugin_oji.so` をコピーすると、Java はクラッシュします。

すべての Java プラグインを `/usr/sfw/lib/mozilla/plugins` ディレクトリにインストールします。

1.7.2 その他のプラグイン

Mozilla 1.7 には、Adobe Acrobat Reader プラグインも使用できます。

Mozilla のプラグインについての詳細は、次の場所を参照してください。
<http://plugindoc.mozdev.org/solaris.html>

1.8 各国語化サポート

このリリースの Java Desktop System では、次の言語がサポートされます。

- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- 日本語
- 韓国語
- スペイン語
- スウェーデン語
- 簡体字中国語
- 繁体字中国語
- ブラジルポルトガル語 — ユーザーインタフェースサポートのみ

注 - このリリースの Java Desktop System は、上記サポート言語以外にも GNOME コミュニティから入手した、その他の言語の各国語化ファイルを含んでいます。Sun Microsystems は、これらの言語の各国語化に対する完全性や正確性については責任を持ちません。

1.9 推奨ロケール

ログイン画面に従来のロケールも表示されていますが、Java Desktop System では UTF-8 と zh_CN.GB18030 ロケールの使用を推奨します。デフォルトのログイン画面 (dtlogin) から GNOME 2.x Display Manager (gdm) に手動で切り替えた場合、UTF-8 および zh_CN.GB18030 ロケールだけが表示されます。GNOME 2.x Display Manager のログイン画面に従来のロケールを追加するには、`/etc/X11/gdm/locale.alias` ファイルで、追加するロケールのコメントタグを削除し、システムをリブートします。

1.10 Unicode 多言語コンピューティングへの移行

Java Desktop System は、Unicode UTF-8 エンコーディングで言語をサポートする、Unicode 完全対応の多言語システムです。Java Desktop System には、従来の (UTF-8 以外) エンコーディングをサポートするコードセット変換も備わっています。ここでは、Unicode 多言語コンピューティングへの移行時に起こり得る問題について説明します。

1.10.1 データのインポートとエクスポート

Unicode 多言語コンピューティングへの移行によって影響を受けるデータは、様々な方法でインポートおよびエクスポートできます。

1.10.1.1 Microsoft Office ファイル

Microsoft Office ファイルは、Unicode でエンコードされています。StarSuite アプリケーションでは、Unicode でエンコードされたファイルの読み取りや書き込みができます。

1.10.1.2 HTML ファイル

Mozilla Composer などの HTML エディタを使用して作成した HTML ファイルや、Web ブラウザによって保存された HTML ファイルには、通常、charset エンコーディングタグが含まれています。エクスポートまたはインポートしたあとの HTML ファイルは、HTML ファイル内のエンコーディングタグに基づいて、Mozilla Navigator Web ブラウザで表示したり、Mozilla Composer を使用してファイルを編集することができます。

1.10.1.3 壊れた HTML ファイルの修正

HTML ファイルは文字化けする場合があります。この問題は、概ね次の理由によります。

- charset エンコーディングタグが正しくない。
- charset エンコーディングタグがない。

HTML ファイルの charset エンコーディングタグを見つけるには、次の手順を実行します。

1. Mozilla を使用してファイルを開きます。
2. Ctrl+i を押すか、「表示」をクリックして、「表示」メニューを開きます。
3. 「ページ情報」をクリックします。

charset 情報は、「一般」タブの下に次のように表示されます。Content-Type text/html; charset=us-ascii

文字列 charset=us-ascii が、ファイルの実際のエンコーディングと一致しない場合、そのファイルは壊れているように見えることがあります。HTML ファイルのエンコーディングを編集するには、次の手順を実行します。

1. Mozilla Composer でファイルを開きます。
2. 「ファイル」メニューを開きます。
3. 「文字エンコードの保存および変更」を選択します。
4. 正しいエンコーディングを選びます。Mozilla Composer は、自動的にエンコーディングと charset タグを適切に変換します。

1.10.1.4 汎用形式で保存された電子メール

現在使用されている電子メールは、MIME charset タグでタグ付けされています。電子メールおよびカレンダーアプリケーションでは、MIME charset タグを使用できます。したがって、エンコーディング変換を実行する必要はありません。

1.10.1.5 プレーンテキストファイル

プレーンテキストファイルには、`charset` タグがありません。ファイルが UTF-8 エンコーディングでない場合、エンコーディング変換を行う必要があります。たとえば、繁体字中国語の `big5` でエンコードされているプレーンテキストを UTF-8 に変換するには、次のコマンドを実行します。

```
iconv -f big5 -t UTF-8 inputfilename > outputfilename
```

エンコーディング変換には、ファイルシステム検査器 も使用できます。

また、テキストエディタを使えば、様々な文字エンコーディングのテキストを自動的に読み出したり書き込んだりできます。または、ファイルを開いたり保存するときに、明示的にエンコーディングを指定することもできます。

テキストエディタを開始するには、「起動」をクリックし、「アプリケーション」→「アクセサリ」→「テキストエディタ」の順に選択します。

1.10.1.6 ファイル名とディレクトリ名

マルチバイト文字を含むファイル名やディレクトリ名が UTF-8 エンコーディングになっていない場合は、エンコーディング変換を行う必要があります。ファイルシステム検査器 を使って、レガシー文字エンコーディングによるファイル名やディレクトリ名、プレーンテキストファイルの内容を、UTF-8 エンコーディングに変換できます。詳細は、ファイルシステム検査器 のオンラインヘルプを参照してください。

ファイルシステム検査器 を開始するには、「起動」をクリックし、「アプリケーション」→「ユーティリティ」→「ファイルシステム検査器」の順に選択します。

ファイルマネージャを使用して SMB 経由で Microsoft の Windows 上のファイルにアクセスする場合は、エンコーディング変換せずに UTF-8 以外のファイル名やディレクトリ名にアクセスできます。このとき、バグの為ファイルマネージャの「場所:」に表示されるファイルパスが文字化けした様に見えますが、ファイル内容の表示に支障はありません。

1.10.1.7 従来のロケール固有のアプリケーションの起動

Unicode UTF-8 への移行準備が整っていないアプリケーションの場合、フロントパネルにランチャーを作成すると、従来のロケールでアプリケーションを開始できます。コマンドラインからアプリケーションを直接開始することもできます。アプリケーションのランチャーを作成するには、次の手順を実行します。

1. フロントパネル上のランチャーを配置したい場所で右クリックします。
2. 「パネルに追加」->「ランチャー」と選択します。
3. 「ランチャーの作成」ダイアログの「コマンド」フィールドに、次の形式で入力を行います。

```
env LANG=locale LC_ALL=locale アプリケーション名
```

たとえば、`/usr/dt/bin` から `motif-app` という名前のアプリケーションを中国語の Big5 ロケールで開始する場合は、「ランチャーの作成」ダイアログの「コマンド」フィールドに、次のテキストを入力します。

```
env LANG=zh_TW.BIG5 LC_ALL=zh_TW.BIG5 /usr/dt/bin/motif-app
```

アプリケーションの正しい `LD_LIBRARY_PATH` を指定しなければならない場合もあります。

4. 「了解」をクリックすると、パネルにランチャーが作成されます。

従来のロケール固有の CLI (コマンドラインインタフェース) アプリケーションを実行する場合は、まず従来のロケールで端末エミュレータウィンドウを開いた後、同じ端末エミュレータウィンドウで CLI アプリケーションを実行します。端末エミュレータウィンドウを従来のロケールで開くには、次のコマンドを入力します。

```
env LANG=locale LC_ALL=locale gnome-terminal --disable-factory.
```

端末エミュレータウィンドウの「文字エンコーディングの設定」メニューでエンコーディングを変換すれば、従来のロケールで新規の端末エミュレータウィンドウを開く代わりに、現在の端末エミュレータウィンドウでロケール設定を UTF-8 から従来のロケールに切り替えることができます。この場合、現在のシェルに対して `LANG` および `LC_ALL` 環境変数を設定し直す必要があります。